

2005年3月期 決算説明会

(2004年4月1日 ~ 2005年3月31日)



 **SEIKOH GIKEN**

2005年5月23日

- . 2005年3月期連結決算概要
- . 2006年3月期連結業績見通し

. 2005年3月期連結決算概要

2005年3月期 連結決算ハイライト

(百万円)	2005年3月期	2004年3月期	対前期 増減率	業績予想値 (2004/11/9)
売上高	6,103	6,918	11.8%	6,050
精機部門	4,853	5,966	18.7%	4,700
光製品部門	1,250	951	31.3%	1,350
営業利益	1,714	2,291	25.2%	1,600
経常利益	1,842	2,168	15.0%	1,600
当期純利益	1,768	1,391	27.1%	1,400

連結業績は、中間期に修正した業績予想を上回って推移
法人税負担額の減少等により当期純利益が大幅に増加

2005年3月期 連結決算ハイライト

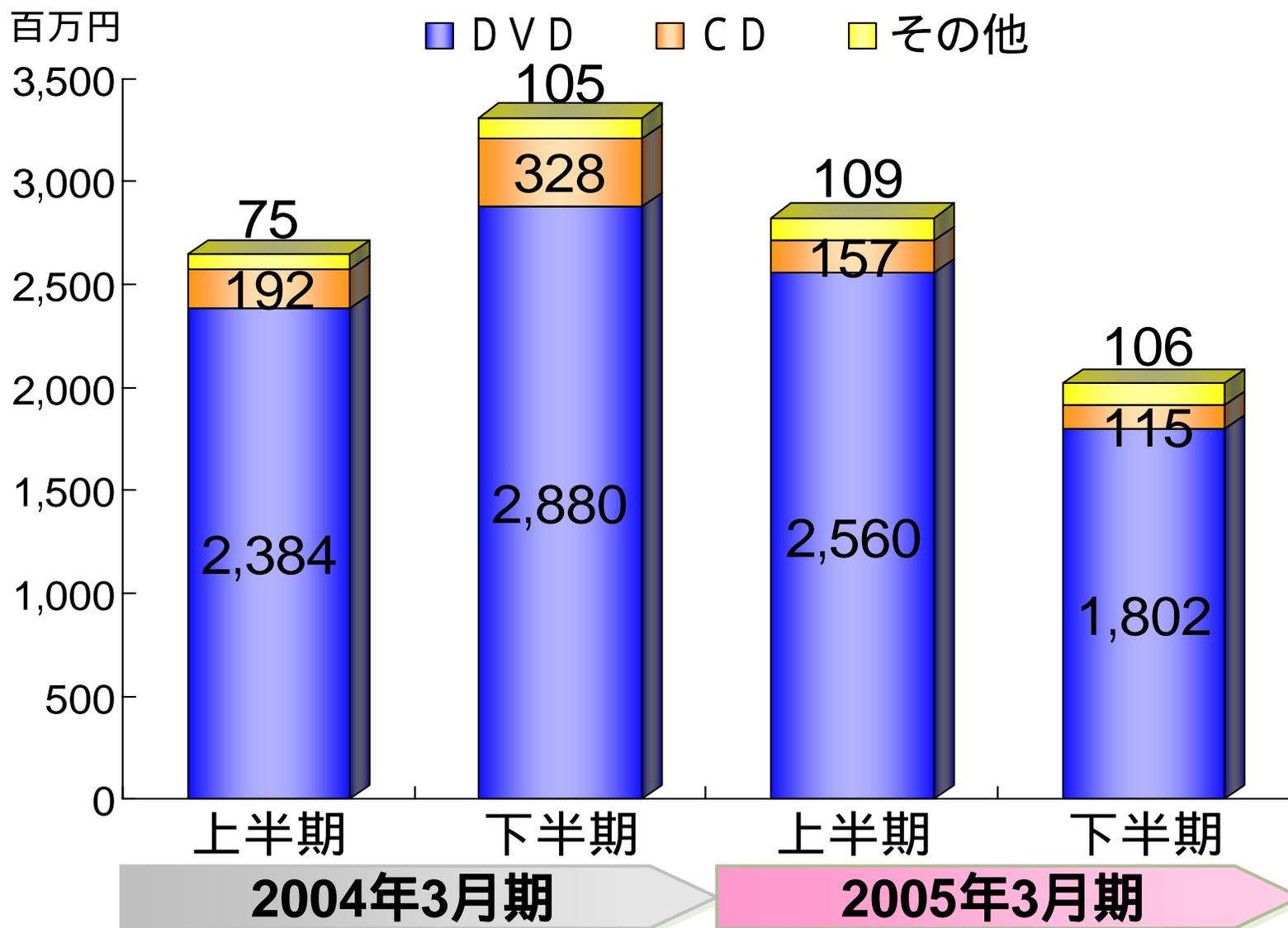
(百万円)	2005年3月期	2004年3月期	対前期 増減率
受注高	5,366	7,048	23.9%
受注残	718	1,454	50.6%
設備投資	168	547	69.3%
減価償却費	500	479	4.4%
研究開発費	382	381	0.3%

セグメント業績 / 精機部門

(百万円)	2005年3月期	2004年3月期	対前期 増減率
売上高	4,853	5,966	18.7%
営業費用	3,029	3,301	8.2%
営業利益	1,823	2,665	31.6%
営業利益率	37.6%	44.7%	7.1%

DVD成形用金型の需要が減少
メンテナンス事業は堅調に成長

セグメント別売上高 / 精機部門

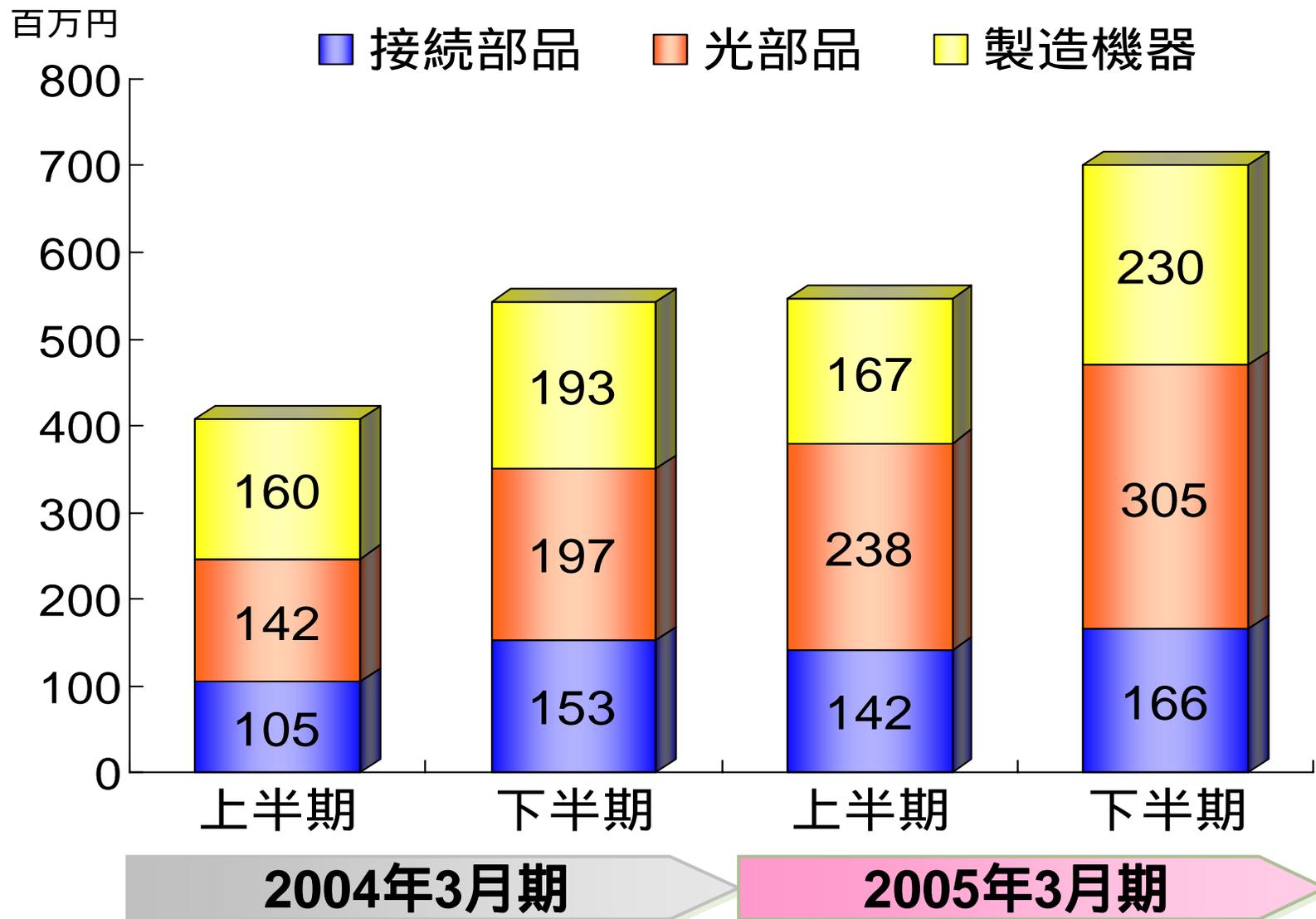


セグメント業績 / 光製品部門

(百万円)	2005年3月期	2004年3月期	対前期 増減率
売上高	1,250	951	31.4%
営業費用	1,359	1,325	2.5%
営業利益	108	374	
営業利益率	8.7%	39.3%	30.6%

メトロ・アクセス系市場の立ち上がりを受け、売上高は増加
売上高の増加と原価の低減により、赤字幅は縮小

セグメント別売上高 / 光製品部門



連結貸借対照表

科目	(百万円)		
	2005年3月期	2004年3月期	増減額
< 資産の部 >			
流動資産	16,383	15,809	+ 574
固定資産	8,967	9,329	362
資産合計	25,351	25,138	+ 212
< 負債及び資本の部 >			
流動負債	614	1,614	999
固定負債	539	522	+ 17
資本の部	24,134	22,946	+ 1,187
負債・資本合計	25,351	25,138	+ 212

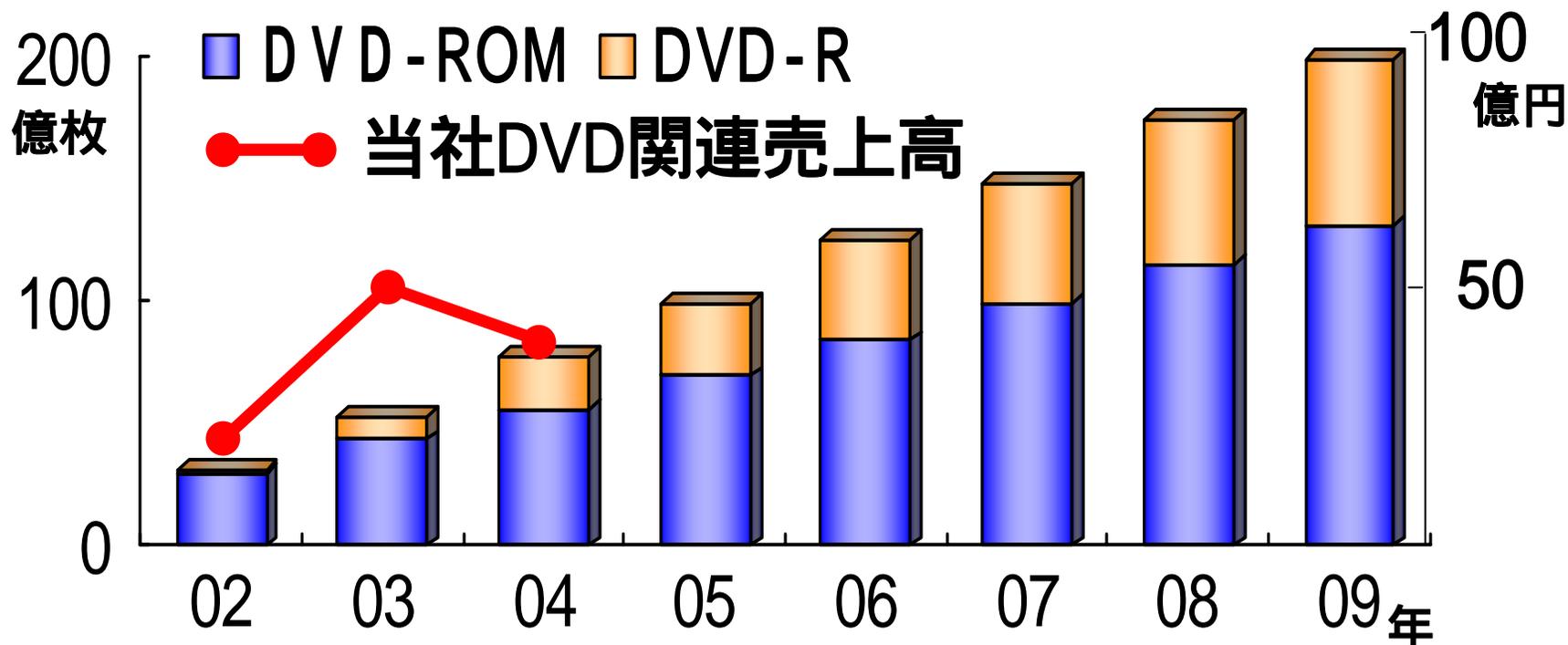
連結キャッシュフロー計算書

項目	(百万円)	
	2005年3月期	2004年3月期
営業CF	2,766	122
投資CF	7,900	1,167
財務CF	553	177
現金増加額	5,682	1,253
期首残高	10,902	12,156
期末残高	5,219	10,902

. 2006年3月期 連結業績見通し

精機部門の事業環境

DVD生産枚数は増加傾向にあるが
生産設備には充足感



DVD生産数量予測: 富士キメラ総研

光製品部門の事業環境

光通信市場は緩やかに拡大中

NTT

3000万世帯に光回線

6年で5兆円投資

NTTは三日、二〇一三年までに国内の固定電話回線を光ファイバー網に置き換える「トバンド」(高速大容量)計画を公表した。この計画では、総投資額は五兆円に達する。通信網のアップグレードへの競争力を高めるため、

光通信市場 回復の兆し

「一〇一〇年の急激な減速は、パルサー通信の水準に回復している」と住友電器工業の高田邦光氏は、ファイバー網の普及は、光回線の普及に比べて遅いものの、昨秋は伸びた。NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。

相次ぎキャリア再編 部品業界に飛び火も

NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。NTTは、光回線の普及に力を入れ、光ファイバー網の普及を促進している。

米地域通信大手

光ファイバー投資拡大

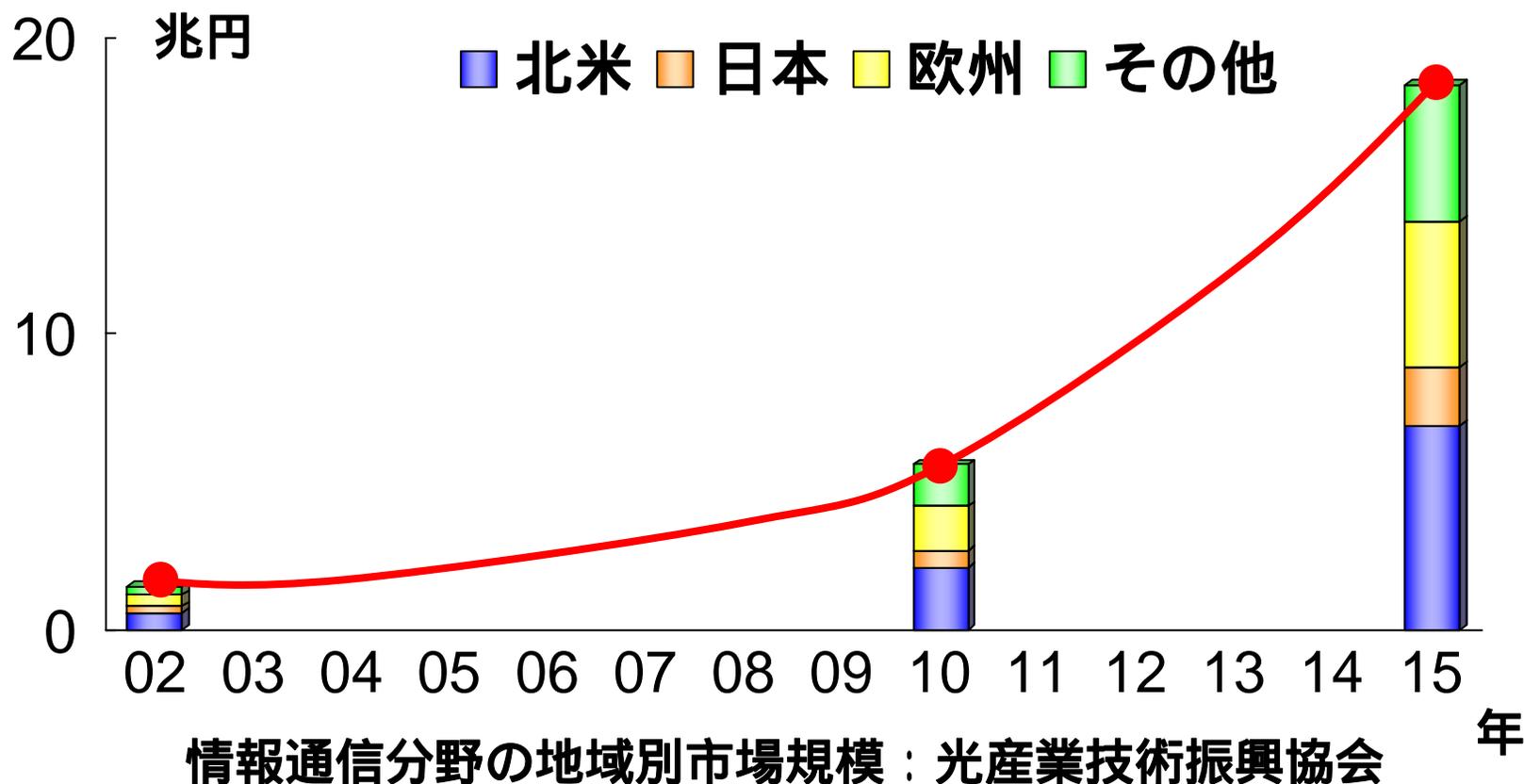
SBCなど 放送参入も目指す

「ニューヨーク」(藤原洋二)米地域通信大手が相次ぎ光ファイバー投資を拡大する。米連邦通信委員会(FCC)が投資促進に向けた政策を打ち出したことに合わせ、地域通信二位のSBCコムユニケーションズが投資計画を二年前倒しするほか、ベルサウスなども計画を上方修正した。各社は光ファイバー網を足場に放送事業への参入も狙っている。

インターネットネットワーク(インターネット)電話、高速ネットワークの実証実験を始めており、テレビの試験放送も開始している。

光製品部門の事業環境

光通信市場は緩やかに拡大中



セイコーインスツル株式会社 (SII社) 光事業の概要

事業規模

- 2004年度 売上高 : 20億円

取扱い製品

- フェルール
- コネクタ
- 研磨機、研磨消耗品

フェルール以外は
当社製品群と
ほとんど同じ

営業譲受けのメリット

販売網

➤ 地域を相互に補完

	SG	SII	統合後
日本			
北米		×	
欧州	×		
アジア			

営業譲受けのメリット

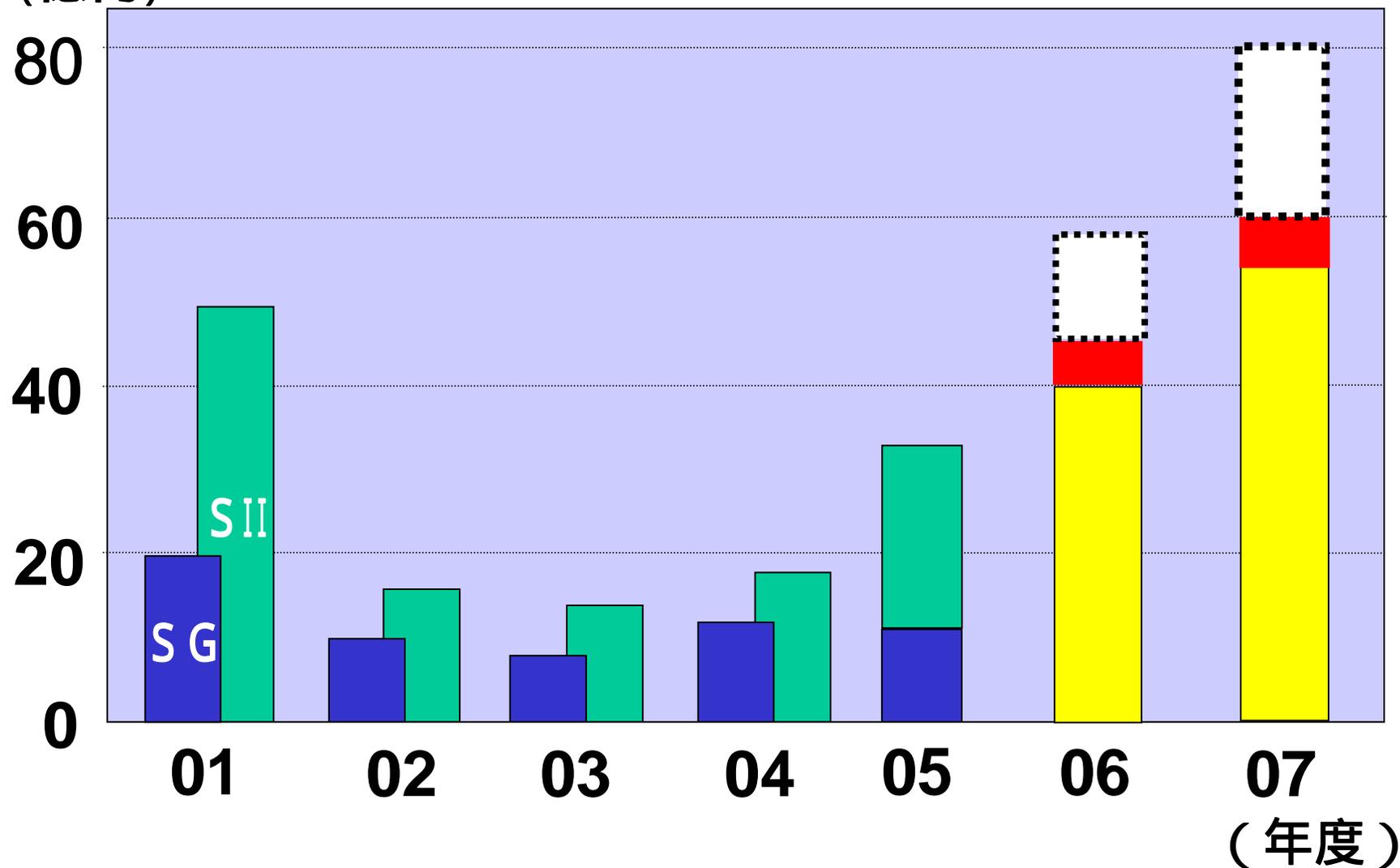
商品 & 技術

➤ 商品ラインアップの拡大と技術の深耕

	SG	SII	統合後
コネクタ フェール			
ファイバ Assy 先端加工			
光減衰器等			
研磨機			

営業譲受けによるシナジー効果（光事業）

(億円)



2006年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	06/3月期 予想	05/3月期 実績
売上高	3,000	3,264	6,260	6,103
営業利益	690	40	650	1,714
経常利益	700	40	660	1,842
当期純利益	450	20	430	1,768
投資			1,600	168
減価償却費			682	500
研究開発費			500	382

2006年3月期 連結業績見通し（部門別）

	精機部門		光製品部門		(百万円)
	上期	下期	上期	下期	通期
売上高	2,140	1,420	860	1,840	6,260
営業費用	1,260	1,340	1,050	1,960	5,610
営業利益	880	80	190	120	650

2005年3月期 決算説明会

